

インフルエンザ(2025年第52週)疫学情報 《コメント》

2025年第52週の定点当たり報告数は22.77(患者報告数87,534)となり、前週の定点当たり報告数32.73よりも減少した。都道府県別では宮崎県(62.57)、鹿児島県(48.00)、佐賀県(39.88)、長崎県(35.84)、徳島県(35.12)、熊本県(35.06)、福岡県(34.46)、高知県(33.92)、大分県(33.76)、島根県(33.70)、愛媛県(32.16)、香川県(30.83)、岡山県(30.10)の順となった。全国47都道府県中、1都道府県では前週の報告数よりも増加し、46都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は1,401例であり、前週(1,896例)から減少した。47都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(78例)、1～4歳(190例)、5～9歳(138例)、10代(90例)、20代(30例)、30代(27例)、40代(26例)、50代(63例)、60代(101例)、70代(203例)、80歳以上(455例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近5週間(2025年第48週～2025年第52週)では、AH3亜型が484件(94%)、B型が23件(4%)、AH1pdm09が6件(1%)の順であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。